

2024 年度 第二回学校関係者委員会 会議報告書

日 時 : 2025 年 3 月 17 日 (月曜日) 10 : 00 ~ 11 : 20

場 所 : 旭美容専門学校 実習室 TEL059 - 228-2264

出席委員 :

株式会社杉新衣裳店 杉田 真一様

hair salon un peu 吉村 太様

有限会社 山端鋏製作所 山端 公喜様

ヘアーアンドメイク ウェーブ 長島 正美様

ヘア&メイク KOTOBUKI 中林 巳佳様

学校より :

旭美容専門学校 理事長 長谷川雅敏

旭美容専門学校 校長 溝口 智紀

旭美容専門学校 事務長 中尾 孝子

配布資料 : 事項書 意見等記載シート

学校案内

議事次第

1. 開会 配布資料の確認（司会）

2. 学出席者の確認

事項書 2 ページ委員名簿で確認

3. 学校長挨拶

溝口校長より

4. 学校関係者委員会の進め方

司会者より説明

5. 議長の選任・ご挨拶

杉田委員が議長に指名され、議長は就任の挨拶の後、議事に入る。

6. 議事

1) 新年度の事業計画及び教育テーマについて

議長は、2025 年度の事業計画について担当者から説明を求めた。

理事長及び校長より 2025 年度事業計画の説明があり、事務長より主な学校行事について説明がなされた。

その後、議長は議場に意見・質問等の求めたところ発言は次の通り

・たくさんの行事があり旅行も多く楽しそうな印象をもった。資格もたくさん取得でき国家試験に向けてもきちんと対応している。

2025 年度重点事業 2 に掲げられている「全国に求められる人材の育成」にぜひ力を入れて取り組んでいただきたい。特に、名古屋・東京といった都市志向の若者に対し、どのような媒体を活用し、どのように発信するかを十分に検討し、効果的な集客を図ってほしい。

(長島委員)

・著名な英国人美容師、ヴィダル・サスーン氏を全く知らない世代が増えている。英国でのサスーン研修を韓国研修に切り替えるのは、時代に即した良い試みであると考え

る。

・広報活動については、コンテストでの成績優秀者や人気サロンへの就職者にのみ焦点を当ててではなく、一つのサロンで長く勤務し、輝いている OB・OG にもスポット

を当てて紹介すべきではないか。これにより、美容業界に対する「離職率が高い職場」というイメージを払拭し、業界の魅力をより広く発信できると考える。

(吉村委員)

・韓国研修は希望者を対象とするという理解でよいか。一般的に「韓国旅行」と聞くと、コスメなどの買い物のイメージが強い。また、他の研修旅行も多く実施されているため、保護者の負担増が懸念される点も考慮してほしい。

(山端委員)

・社会人向け学び直し(教育訓練給付金)制度の活用状況はどうなっているのか？

(長島委員)

・雇用保険を利用した制度で新年度も社会人4名が入学、内3名が利用している。

(事務長)

・美容学校の学費は高いイメージがある。学び直しを決意した社会人にとって、大変ありがたい制度だか知らない人が多いと思うのでしっかり告知すべき。

(長島委員)

・母校を巣立った卒業生らがより良い学園づくりを支援するための寄付金制度の仕組み作りが必要では。ステイタス制など検討すべき

(吉村委員)

2) 2024 年度学生アンケートについて

議長は続いて学生アンケートの実施結果について説明を求めた。

事務長よりこのアンケートは本年 2 月末から 3 月初めにかけて、本科生全員を対象に同じ内容で実施されたことが報告され、その後、各項目のアンケート結果について説明がなされた。

また、本アンケートについては、自己点検・評価委員会においても教職員間で議論し、改善に努めていくことが理事長より補足説明され、その後、議長が議場に対し意見や質問を求めたところ、発言内容は以下の通り

- ・「ロッカーを大きくしてほしい」という声が上がっている。学びやすい教育環境の整備は重要である。

(中林委員)

- ・外部講師の立場から見ると、アカデミックハラスメント（アカハラ）に関する教員の責任と権利の境界が曖昧であり、指導しづらいのではないか。ガイドラインを明確にする必要がある。（ハラスメントガイドライン）

- ・授業の妨げとなる学生の存在はやる気のある学生や、真剣に学びたいと考えている学生の意欲を損なうことにつながる可能性がある。

- ・教員と学生の距離を適切に縮めることができる環境を整えることが望ましい

(吉村委員)

議長は意見が一通り意見も出尽くしたので以下の通り総括した。

一般企業であれば、社員は会社の理念や目指すものを理解し、決意を固めて入社してきます。これは専門学校 학생も同じであり、まずは本校のビジョンや理念をしっかりと自分のものとして落とし込み、目標を持った上で真剣に学ぶ決意を持ってスタートを切らせることが大切だと感じました。大変なことやうまくいかないことも多いと思うが、自分で選んだ道だからこそ、最後までやり遂げてほしい。悩んでいる学生がいたら、初心を思い出させ、励まし背中を押してあげることが大切。辛い時を乗り越えた先にこそ、この仕事の楽しさややりがいを実感できる。いろいろ違う環境で育ってきた学生たちを指導していくのは大変だと思うが、我々も次世代に即した教育のあり方や教師像について議論していきたいと思いますので今後ともよろしくお願いします。

(杉田議長)

7. 連絡事項

次回会議は7月28日(月曜日)午後4時から開催に決定した